

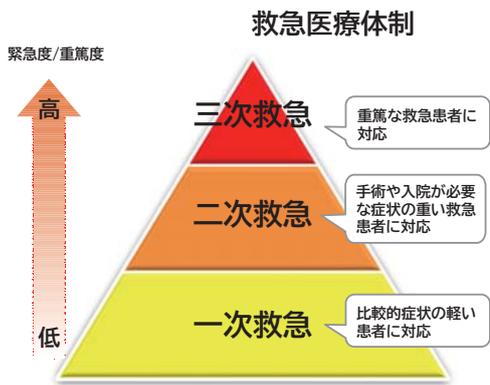


わたなべ けんいち
誠和会 渡邊 健一 議員

さんむ医療センター救急対応

問 救急車を要請しても、受け入れ先の医療機関が見つからずに搬送できない事例があるようですが、搬送先を指名することは可能か伺います。

答 総務部長 山武郡市広域行政組合消防本部に確認したところ、特定の医療機関を指名することは原則できません。救急隊は傷病者の全身状態を総合的に判断して、受け入れ可能な一



次、二次、三次医療機関を選定します。

問 さんむ医療センターは二次救急医療機関であり、山武郡市病院群輪番制に参加しているとのことですが、その仕組みを伺います。

答 保健福祉部長 救急車により直接搬送されてくる救急患者に対応するため、郡内6病院が夜間に対応できるように、日を決めて順番に担当する制度です。

問 市民の安心のため、さんむ医療センターで24時間救急対応を望む声がありますが、見解を伺います。

答 保健福祉部長 人員確保の点などから輪番制としており、定期的な夜間の救急は受けていますが、毎日の対応は難しい状況です。休日当番医(広報さんむ掲載)や東金市にある山武郡市急病診療所への受診をお願いします。

問 安定経営を継続していくための医師は確保できているのか伺います。

答 保健福祉部長 地方独立行政法人さんむ医療センター中期計画および年度計画において、医師数42名を目標としているところ、現在、46名の正職員が在籍しており、充足しているものと判断しています。

医師偏在における状況下で中長期的で安定した医師確保を行うため、関連病院との研修医・専攻医の連携、千葉大学各医局との関係維持や強化を含め、今後も安定的な医師の確保に努めます。



いまがわ かずひろ
誠和会 今川 和弘 議員

消防団員の負担軽減

問 山武市消防団の火災等への出勤について、1年間あたりの平均出勤回数を伺います。

答 総務部長 市全体の、過去5年間における消防団各部の火災等への平均出勤回数は、年間約10回です。

問 火災等への出勤以外の、消防団員の年間の主な行事等およびその活動日数を伺います。

答 総務部長 市の消防団行事等による活動日数は、年間12日程度ですが、そのほかにも、消防団各部による水利点検や操法大会の自主訓練、地元地区からの要請による行事等への参加など、活動は多岐にわたっています。

【市の主な消防団事業】

- ①訓練
 - ・部長訓練
 - ・チェーンソー訓練
 - ・初任者訓練
 - ・地区ごとの中継訓練
 - ・操法合同訓練
- ②警戒活動
 - ・年2回の管内警ら(火災予防)
 - ・歳末警戒
- ③行事
 - ・出初式
 - ・操法大会

問 団員の皆さんは、本業を別に持ちつつ、少なくとも年間40日以上消防団活動をしていただいています。また、近年、災害が激甚化・多発化する中で、消防団は地域の安心安全を守るため、重要な役割を担っている一方、団員数は減少傾向にあり、団員の負担はますます大きくなっています。近隣自治体では、出初式を表彰式のみとしている事例もあるようです。本市においても、各種行事の見直し等による消防団員の負担軽減を提案しますが、市長の見解を伺います。

答 市長 消防団員の皆さまには、火災等への出勤だけではなく、行事等への参加、水利の点検など多岐にわたる活動していただいています。

一方で、操法大会や形式的行事への参加が消防団員の負担となっているといった声があることも認識しています。消防団員の成り手が減少している中で、持続可能な消防団組織の構築のためには、消防団員の負担軽減は必要なことだと考えます。

消防団の行事のあり方や、火災・災害時に安全かつ迅速に活動するための実践的な訓練の実施など、今後の消防団活動の方向性について、消防団本部で検討していただくようお願いしていきます。

